

平成22年度第6回経営協議会議事要録

日 時 : 平成23年3月17日(木) 13:30 ~ 15:40

場 所 : 大会議室

出席者 : 谷口 功、安部 眞一、山村 研一、田口 宏昭、森 光昭、山本 晃、岩岡 中正、
古島 幹雄、原田 信志、猪股 裕紀洋、伊藤 晴夫、江口 吾朗、岡村 宏、
小栗 宏夫、船津 昭信、星子 邦子

欠席者 : 田川 憲生、遠山 敦子、村田 信一、吉丸 良治

○ 議事要録の確認

平成22年度第5回会議議事要録が確認された。

議 事

1. 国立大学法人熊本大学会計規則の一部改正について

議長から、平成23年1月21日付けで国立大学法人会計基準が改訂されたことに伴い、本学会計規則の一部改正について審議願いたい旨提案があった。

次いで、事務部から、資料1に基づき、改正の内容について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

2. 平成23年度における職員の給与等の取扱いについて

議長から、職員の給与等については平成22年度人事院勧告を重要な参考資料として対処することについて役員会で了承されたことを受け、平成23年度における取扱いについて、労働基準法、障害者雇用促進法等への対応も含め、政策調整会議において検討を進めてきた旨説明があり、取扱いの変更に伴う関係規則の一部改正について審議願いたい旨提案があった。

次いで、事務部から、資料2-1・2-2に基づき、改正の内容について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

3. 平成23年度計画(案)について

議長から、平成23年度計画(案)について審議願いたい旨提案があった後、資料3に基づき年度計画の概要について説明があり、種々意見交換が行われ、審議の結果、原案のとおり了承された。

(意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等)

◇ 年度計画については、数値目標等をもう少し具体的に記述してはどうか。

◆ この年度計画は大枠を示しているものであり、詳細については別途作成している。

◇ 国際化に関する事項が散在しているが、包括的にはどのように整合性を図りながら実施していくのか。

- ◆ 国際化といっても、教育、研究等様々な分野に関連しており、それぞれの専門分野において対応するものもあれば、国際関連部署においてマネジメントするものもある。
- ◇ 国際化に関する事項を一目でわかるよう一覧にしておくとうい。
- ◇ 国際化については、より多くの大学との交流等を行いたいように見受けられるが、広く浅く、数を増やそうとお考えなのか。
- ◆ 広く深く、を目指している。
- ◇ やみくもに手を広げるのではなく、例えば協定校の特色やカリキュラムを精査する等、整理をする必要があるのではないか。
- ◇ 例えば、「秋季編入学の教育プログラム」「国際的通用性の高い教育プログラム」といった表記が多く見られるが、やはり、具体的に示してほしい。

4. 平成23年度予算配分の方針（案）について

議長から、1月20日開催の本会議において了承され、2月24日開催の役員会において決定した「平成23年度熊本大学予算編成の基本方針」を踏まえ、平成23年度予算配分の方針（案）及び平成23年度予算配分（案）を作成したので審議願いたい旨提案があった後、資料4に基づき内容について説明があり、種々意見交換が行われ、審議の結果、原案のとおり了承された。

（意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等）

- ◇ 赤字決算をするということは考えないのか。また、収入が決まっていないのに予算を作る、というのは、何を作っているのかわからないように思える。
- ◆ これは既に政府予算に組み込まれている。ただし、東北地方太平洋沖地震の影響による補正予算の編成に伴い、減額される可能性はある。
- ◇ 資料『特色ある資源配分』の中に、「海外における学習等活動活性化」の予算について300万円とあるが、国際化を推奨しているわりには少ないように感じる。
- ◆ 主に、学生が海外に滞在する際の保険代であり、海外での活動経費全てを表しているものではない。
- ◇ 限られた予算の中で、教育力の強化や戦略的な運営を行うことは、大変だと感じた。

5. 平成23年度経営協議会開催予定について

議長から、平成23年度の本会議の開催日程について、資料5のとおり年4回の開催としたい旨提案があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

報告連絡

1. 第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について

議長から、資料6に基づき、第1期中期目標期間の業務実績評価の確定に係る国立大学法人評価委員会からの評価結果（原案）について説明があった。

2. 寄附講座の設置及び設置期間更新について

議長から、資料7に基づき、熊本県からの寄附講座設置のための寄附申し込みがあったことを受け、熊本大学寄附講座及び寄附研究部門に関する規則に基づき、当該寄附講座(名称:「脳卒中・急性冠症候群医療連携寄附講座」)を平成23年4月から医学部附属病院に設置することとした旨報告があった。

また、富士電機システムズ株式会社、株式会社LTTバイオフーマ及びニプロ株式会社からの申し出により、次のとおり設置期間を更新することとなった旨報告があった。

- ・富士電機システムズ株式会社(工学部「太陽電池・環境自然エネルギー寄附講座」)
更新期間:平成23年4月1日～平成25年3月31日
- ・株式会社LTTバイオフーマ(薬学部「先端DDS学寄附講座」)
更新期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日
- ・ニプロ株式会社(薬学部「医薬高分子学寄附講座」)
更新期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日

3. 社団法人日本私立大学連盟平成22年度監事会議講演報告

高橋監事から、資料8に基づき、平成22年8月に開催された社団法人私立大学連盟平成22年度監事会議における講演について報告があった。

以上

○ 次回開催 : 平成23年6月16日(木) 13時30分から

<配布資料>

- 資料 1 国立大学法人熊本大学会計規則の一部改正案新旧対照表 ほか
- 資料 2-1 平成23年度における職員の給与等の取扱いについて(案)
- 資料 2-2 熊本大学職員給与規則等の一部改正案新旧対照表
- 資料 3 平成23年度国立大学法人熊本大学年度計画(案)
- 資料 4 平成23年度予算配分の方針(案) ほか
- 資料 5 平成23年度国立大学法人熊本大学経営協議会
- 資料 6 第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果(原案)
- 資料 7 寄附講座の設置について ほか
- 資料 8 曲がり角に立つ監事監査制度ー国立大学法人化の現状においてー
- 参考資料 熊本大学の現状と将来展望ー誇れる大学から憧れの大学への挑戦ー